

【第2回】石狩市総合戦略推進懇話会開催結果報告書

平成29年11月24日

【日時】 平成29年10月27日（金）13:30～17:00

【場所】 石狩市総合保健福祉センター（りんくる）3階視聴覚室

【出席者】 12名（16名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	角川 幸治	○	委員	佐藤 勝彦	×	委員	浜野 俊介	○
副会長	竹口 尊	○	委員	白井 かの子	×	委員	林 美香子	○
委員	木村 秀裕	○	委員	鈴木 正人	○	委員	原 俊彦	○
委員	河野 明美	○	委員	高梨 朝靖	○	委員	向田 久美	○
委員	小林 卓也	○	委員	徳光 康宏	×			
委員	酒井 志津子	○	委員	芳賀 武士	×			

※正副会長を除き、あいうえお順

□事務局 石狩市企画経済部：小鷹部長、本間企画課長、池内企画担当主査
石狩市建設水道部：廣長部長、菅原課長

【傍聴者】 0名

- 【次第】 1. 開会
2. フィールドワーク（市内現地視察）
・施設位置図【資料1】
・基本情報（花川南浄水場）【資料2】
・基本情報（緑苑台浄水場）【資料3】
・公園を活用した高齢者サロン【資料4】
3. 意見交換
4. その他
5. 閉会

===== 会議内容の記録 =====

以下、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨。

1. 開会

2. フィールドワーク（市内現地視察）

- ・花川南浄水場視察
（花川南浄水場の基本情報について本市建設水道部担当者より説明【資料2参照】）
- ・緑苑台浄水場視察
（緑苑台浄水場の基本情報について本市建設水道部担当者より説明【資料3参照】）
- ・飛行機公園サロン視察
（公園を活用した高齢者サロンについて事務局より説明【資料4参照】）

3. 意見交換

質疑・意見

＜「花川南浄水場」・「緑苑台浄水場」について意見交換＞ ※事務局から情報提供

【花川南浄水場】

- 施設の立地状況から、防犯上やあるいは美観上の問題もあり、できるだけ早期に活用あるいは処分の方
向性を見出して参りたいと考えている。
- 仮に施設を壊して更地にして違う土地利用を図る場合、解体費用として約3億円程度の費用が発生す
ることになる。
- 仮に売却するとした場合は、計算上5,000万円くらいの資産価値になるかと思う。また、賃貸での活
用となっても10年ないし15年後には、建物の寿命がくると思うため、解体費がそのまま先送りする
ということになると考えている。

【緑苑台浄水場】

- 立地環境は札幌市北区屯田に近いということや、施設自体のデザインも目を引くところもあり、飲食
店などの様々な活用ができるのではないかと考えている。
- 仮に売却するとした場合は、評価額の約3,000万円がひとつの目安となると思う。

○花川南浄水場は、早めに解体して売却したほうが良いと思う。このままにしておいても面倒な施設とな
る気がする。

○花川南浄水場は、目の前に大きな通りがあるため、一般住宅というよりは通行する車にアピールする商
業施設等のほうが良いと思う。何か人口増に繋がるような施設が良いのかなと思う。

- 土地利用の制限があるため、面積要件等の色々な制約が出てくる。

○緑苑台浄水場の外観は良い。レストランやイベント、コンサートホール、結婚式等が出来るような施設
にして、ロコミなどで人から人に伝わっていくと人が集まるかと思う。お洒落で目を引くような施設に
出来るのではないかとと思う。

○緑苑台浄水場は、地域の付加価値を高めるためにコミュニティセンター機能にしてはどうか。

○緑苑台地区の活性化、コミュニティの形成というビジョンで考えていかなければ利活用等は難しいと思
う。

○浄水場を売却する場合、土地や土壌の洗浄、または設備関係の問題等はないのか。

- 基本的には現状渡しでと考えている。また設備については、撤去等の協議をすることも考えられる。

○花川南浄水場は解体する、緑苑台浄水場は利活用するという方向性を決めたほうがよい気がする。

○2つの施設を比較すると、立地場所は花川南浄水場のほうが良いが、建物は緑苑台浄水場のほうが良い。

○なかなか厳しいという論調になりがちだが、思い切ってさっきのチャペルやコンサートホールといった
夢のある意見を出してはどうか。

○夢のあるという点では、例えば長野県の小布施町は、もともとあった美術館にあまり人が来なかったた

め、若い世代から色々なアイデアを求め、美術館を改装しボルタリングの施設にした。地場の酒造会社を始め、地域の若手の人が出資し協力して新たな会社を立ち上げたという気運のある地域だから出来たと思うが、例えば緑苑台浄水場は天井が高いため、ボルタリングの可能性はあるかなと思う。施設の購入よりは賃借のほうが可能性はあるかなと思う。

○市内にアミューズメント的なワクワクするような楽しめる施設が少なく、防水施設がしっかりしているため水族館も良いかと思う。小規模でも見せ方を工夫することで全国から人が集まるような施設にする。

○石狩はライジングサンロックフェスティバルを開催しているため、その関係でミュージック業界等に施設を視察してもらっても良いと思う。

○テレビロケの舞台で使ってもらうのはどうか。フィルムコミッション等で使ってもらえるのではないかな。

○緑苑台浄水場は小分けにして企業に売る、または貸すのが現実的かと思う。例えば若い人が起業するための飲食店や物販等で活用してもらおう。

○施設内を視察する機会を設けたほうが活用のイメージが沸いてくると思う。例えばタンク一つにしても、タンクを使用して別のものにも出来るといったのがわかれば少し違って来るかなと思う。

○視察してもらうにしても、売却なのか賃貸なのか、それとも市が利活用するのかといった目的を決めないといけないと思う。

○市の利活用ということで花川南浄水場を花川南地区の防災センターとして利用してはどうか。

○全国に浄水場を利活用した事例は無いのか。

●樽川地区にあった浄水場については施設内をリフォームし、児童館として使用している。他の自治体では、一定の条件を示してプロポーザルで売却するといった自治体もある。

○施設のプレゼンみたいなことを行い、いくつか提案を募集してみるのはいかがでしょうか。

○すばらしいアイデアがあれば、クラウドファンディングで成功している地域も出てきているため、売るばかりではなく、浄水場をどうしていくかというアイデア出しをしてもらおう。特に若い世代に考えてもらおう。

○例えば学校や団体等に呼び掛けて、アイデアコンテストなどを実施してみてもどうか。突拍子もないアイデアが出てくる可能性はあるが、その中から光るものが出てくることも考えられるのではないかな。

○まずは施設内を見せて、それからアイデアコンテスト。

○周辺の地域住民にこの施設をどう使うかを考えてもらおう良い機会だと思う。市内にはこれから色々な遊休施設が増えると思うため、住民が関心を持って色々な提案するような「テストケース」として行うの

も良いかと思う。

○まずは、地域の人々の声を聞く説明会等を開催する。そのあたりから進めていけば良いのではないかと考える。

＜「公園を活用した高齢者サロン事業」について意見交換＞ ※事務局から情報提供

●少子化による公園の利用低下に着目し、スタートは高齢者サロンだが、将来的には子どもから高齢者までの「多世代交流拠点」を目指すとともに、「新たな公園の価値を創り出す」というような取り組みである。

○昔の遊びなど子ども達と関わる取り組みは行っているのか。

●メンコやビー玉などの昔遊びを子ども達と始めたら、興味を持って来るようになり、今は高齢者クラブと連携してクリスマス会を実施したりしている。

○成功事例が増えると、今まであまり元気の無かった町内会もやろうかなとなるかもしれない。

●キタロックカフェが自走できるといった成功事例が、他の地域から見たときに自分達もやってみようかなとなると思う。

○成功事例を横展開していくことが一番大切だと思う。

3. その他

4. 閉会

平成29年11月24日 議事録確定

石狩市総合戦略推進懇話会 会長 角川 幸治